※令和４年度以降入学生用

学校番号	406

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	鑑賞演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	Joy of Music　（教育芸術社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

鑑賞演習では、音楽Ⅰ及びⅡの学習成果を基盤として更に一人一人の能力・適性、興味・関心等に応じた多様な学習活動を展開し、卒業後も永続的に音楽にかかわっていこうとする意欲を高めるとともに、一人一人の個性に応じた豊かな音楽能力を身につけさせたい。また、芸術科音楽の最終段階であることを踏まえ、生活や社会における音楽の意義や在り方に関心をもつなど、幅広い視野で音楽を捉えることのできる豊かな音楽観を育てたい。

2　学習の到達目標

・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
・音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。
・主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解している。 ・創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けている。	【歌唱・器楽・創作】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫している。 【鑑賞】 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	イメージをもって豊かな声で歌いあげよう！～クラスの歌声を響かせよう～	【歌唱】 Progress アイノカタチ	a：表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c：歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	演奏の聴取	観察	ワークシート
	リコーダーアンサンブルを楽しもう	【器楽】 木星	a:表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。 c:アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	演奏の聴取		ワークシート
		【創作】 クラッピングアンサンブルをつくろう	b:リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感受しながら、表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。		観察	
	ミュージカルの魅力を味わおう	【鑑賞】 「レ・ミゼラブル」 夢やぶれて 民衆の歌	a：曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり，音楽の特徴と他の芸術との関わりについて理解を深めている。 c：歌唱や管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	観察		ワークシート

※令和４年度以降入学生用

二学期	日本語の美しい語感を生かして表現しよう	初恋	a:曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現するために必要な発声、日本語の発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。 b:「初恋」のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:「初恋」の曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心をもち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	演奏の聴取	観察	ワークシート
	ギターの演奏を楽しもう	【器楽】 オワリはじまり 空とぶ宅急便	a:ギターの音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b:音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:ギターの音色や奏法の特徴を生かした技能を身に付け、創造的に表している。	演奏の聴取	観察	ワークシート
	日本の音風景を感じ取ろう	北秋の	c:我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。			ワークシート
三学期	ハーモニーを味わおう	このみち	a: 曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱や器楽の技能（発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方）を身に付け、協力し合い創造的に表している。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、合奏合唱をする学習に主体的に取り組もうとしている。	演奏の聴取	学習状況の観察	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度